

# その名大口

誇りと愛着のある学校

H 2 8 年 6 月 2 日

「いのち・人生を大切に」 2 学年 井上広之先生

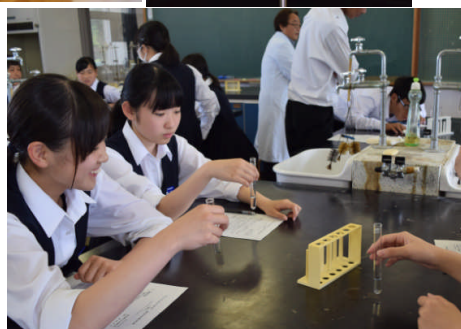
大口高校に赴任して一ヶ月を過ぎ、様々な場面での自己紹介も一段落しました。自分のことを話す中でよく驚かれるのは、子どもが4人いるということです。上から小学5年生、3年生の女の子、間が開いて3歳の男の子、1歳の女の子という構成です。しかし、本当はもう1人、男の子がいました。女の子が2人続いた後、家族にとっては待望の男の子でした。ただ、遺伝子の病気を持って生まれたため、長く生きることはないだろうということを医師に告げられていました。保育器の中で何本ものチューブにつながれ、直接母乳を吸うことも、太陽のまぶしさを感じることもない命でした。週に1回、ほんの1時間程度の面会を重ねることしかできませんでしたが、それでもこの病気では珍しく、1歳2ヶ月も頑張っ生きて抜いた自慢の息子との思い出は、今も色褪せることなく心にあります。

私たちは日頃当たり前になっていることに、改めてありがたいことだと感謝したり、幸せだと自覚することがなかなかできません。息子の一生は、大きな困難もなく健康的に生活できることの素晴らしさを教えてくれました。そして、1年2ヶ月という短い時間でも、親をはじめ、たくさんの人に愛され、かけがえのない存在となることを実感させてくれました。今、皆さんは15年～18年という時間を生きてきました。もし、皆さんがいなくなってしまうたら、周囲の人はどれだけ悲しまれるか。単純な比較はできませんが、私が子どもを亡くした時よりもはるかに大きな苦しみとなるのは間違いないでしょう。自分や級友の命の重みに真摯に向き合い、お互いの存在を大切にしてください。



「大口中央中学校高校体験入学」

土曜授業(5/14)を利用して大口中央中の3年生144名が、大口高校にやってきました。全校生徒と全職員による歓迎の拍手の中を入场。両校生徒会長の挨拶の後、本校生徒の課題研究発表(中学生のためのキャリアガイダンス)が行われ、その後先生方による体験授業が実施されました。



①課題研究

大山凌加さん 「Let,s go to festival around the world」

野尻菜々恵さん 「人はなぜ恋に落ちるのか」

山本慎吾君 「人間の能力について」

山下真芳君 「なぜ中国人は爆買いするのか」

②体験授業

国語：三原純孝先生

地歴：坂元亮先生

数学：原田定先生

理科：盛満淳弘先生

英語：内門英一郎先生



そのためにも、単車や自転車で通学することの多い大口高校生には、事故を起こさないように安全運転に努めて欲しいと思います。自分の命を守るためであるのはもちろんですが、例えば交通事故で誰かの命を奪ったり、大きな怪我を負わせてしまったりすれば、事故を起こした当人の人生も大きく変わってしまいます。「昨日、単車で事故を起こして1人死なせてしまったけれど、今日からテストだから気持ち切り替えてがんばろう！」そんなふうに思うことはできないでしょう。おそらく学校へ登校する気にはなれないのではないのでしょうか。先日、安全の日の集会がありました。改めて自分や他人の命、そして人生を守るため、まずは率先して交通安全に努めてください。そして、当たり前のように学び、友人と語り合うことができる時を大切に過ごしてください。大口高校で充実した時間を過ごし、みなさんの人生が色鮮やかに紡がれていくことを願っています。

「感謝する心」 3学年 森重龍一先生

3年生のみなさんにとって、最後の大会となるインターハイ予選が近づいてきましたね。毎日の練習にもこれまで以上に力が入っていることでしょう。3年間一生懸命練習してきた成果をぜひこの大会にぶつけて悔いのないように頑張ってください。

さて、今日はみなさんにこの大口高校の卒業生の話をしてしたいと思います。その卒業生は私がバスケットボール部で教えた生徒でした。3年生が引退して新チームが始動して最初の練習試合での出来事でした。なかなかうまくいかないことが続いたときにその生徒が苛立っているのを見ていてわかりました。交代をさせて話をしようとしたときにその生徒は私に暴言を吐きました。自分がうまくいかないと周りが見えなくなるのでしょう。みなさんにもそういう経験があると思います。しかしそれから、毎日の練習、いくつかの大会、練習試合に参加して徐々に個人としてもチームとしても成長していきました。

その中で、大会の後に書いた反省文の中に、その生徒がこういうことを書いていました。「大切なことは、毎日思いきり部活をさせてくれる親、応援して下さる先生、大会や練習試合によんで下さる他校の先生、一緒に練習を頑張る仲間、みんなに感謝をするということだと思います」。みなさんも今の状況を当たり前と思わずに感謝する心を忘れずに大会に臨んでもらいたいと思います。

~~~~~  
「北予備講座」そして「開陽高校スクーリング」スタート

右上の写真は、今年度第1回目の「北予備講座」(5/28)。毎月1回一流講師の生の特別講義を受講できます。対象は2・3年生の希望者です。各学年、英語と数学90分の2コマが実施されました。生徒の感想等、「進路だより」5月号(進路指導部発行)に載っています。

右下は、開陽高校通信制課程開講式(5/15)の様子。大口高校は伊佐地区の協力校です。大口高校の先生方が指導にあたっています。前期と後期の計14回、日曜日本校でスクーリングが行われています。  
~~~~~



生徒総会で挨拶する山下生徒会長と議決の様子

